

石狩市サウンディング型市場調査の結果概要

石狩市では、厚田小学校、聚富小中学校、望来小学校、厚田保育園、聚富保育園の校舎・園舎の今後の活用方法について、民間事業者等のアイデアやノウハウ等を取り入れるため、平成31年1月に、「サウンディング型市場調査」を行いました。

その結果、6つの事業者・団体から活用アイデアを頂きましたので、その内容を公表します。

1. サウンディング型市場調査の経緯

平成30年11月19日	サウンディング型市場調査実施要領公表
平成30年11月20日～ 平成30年12月28日	サウンディング型市場調査 エントリーシート募集期間
平成31年1月	応募事業者・団体との対話の実施
1月16日	提案者A
1月23日	提案者B
1月23日	提案者C
1月28日	提案者D
1月29日	提案者E
1月30日	提案者F

2. 民間事業者等との対話の視点

下記の視点を踏まえて民間事業者等との対話を実施しました。

(1) 活用の態様について

①市としては、「石狩市公共施設等総合管理計画」に基づき、閉校・閉園となる土地・建物を、民間事業者等へ譲渡・賃借することで、どの程度施設の維持・管理コストの負担を軽減することが期待できるかという視点。

②学校や保育園は地域の賑わいの源であり、閉校・閉園による影響は大きいため、活用アイデアの実施により、どのように地域の活性化が図られるかという視点。

③活用アイデアが一時的なもので打ち切られてしまえば、地域の衰退を招きかねないため、管理運営体制の整備、確かな資金計画、活用アイデア実施のノウハウの蓄積等を考慮し、将来に渡り継続して行われる見込みがあるかという視点。

(2) 地域貢献について

①とりわけ学校は、学校開放事業や各種行事などにより、地域住民の交流の場としても親しまれて来ており、活用アイデアの実施後も、地域住民の交流の場を確保できるかという視点。

②学校や保育園で働く人々により、その地域の経済は循環しており、活用アイデアの実施にあたり、地元住民の雇用を生み、あるいは、地域に労働者を供給する等、地域経済の循環に貢献できるかという視点。

3. 活用アイデアの概要

●提案者 A	
対象施設	聚富小中学校・望来小学校
活用の態様	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生向け日本語学校。 ・既存の校舎を活用。一部を改修し、寄宿舍としても利用。 ・購入を前提。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員等を地元雇用予定。 ・在校生、卒業生が労働力として地域で就業。 ・在学生の地域行事等への参加。 ・体育館等の地域住民への施設開放。

●提案者 B	
対象施設	聚富小中学校・望来小学校
活用の態様	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を重んじた新たな小学校。 ・聚富小中学校の既存の校舎を活用。軽微な改修をする予定。 ・長期貸借を前提（無償を希望）。 ・望来小学校は、サマースクール等の体験施設として活用。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員等を地元雇用予定。 ・在学生の地域行事等への参加。 ・体育館等の地域住民への施設開放、災害時施設対応。 ・ホームステイや見学等で、地域との交流・協力関係を構築。

●提案者 C ※事業主体性はなく、市や他の民間事業者等による活用方法を提案	
対象施設	厚田小学校、聚富小中学校、望来小学校 厚田保育園、聚富保育園
活用の態様	<ul style="list-style-type: none"> ・厚田小学校⇒学校やオフィスとして活用。観光活用も有用。 ・聚富小中学校⇒食品加工場として活用。防災機能の補完も。 ・望来小学校⇒ホテル等宿泊施設として活用。 ・厚田保育園⇒カフェ併設施設やアトリエ等として活用。 ・聚富保育園⇒簡易宿泊施設や民泊施設等として活用。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への施設開放。 ・地域住民の交流の場の提供。 ・観光施設化による交流人口の増加。

●提案者D	
対象施設	望来小学校のグラウンド
活用の態様	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪車両や資材の保管を行う除雪の拠点。 ・土地のみ購入を前提。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季は地域にグラウンドを開放。

●提案者E	
対象施設	厚田小学校
活用の態様	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品等のミュージアム。 ・宿泊施設の併設も検討。 ・購入、貸借のどちらかは未定。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの活用。 ・各種イベントの開催により、地域の賑わいを創出。

●提案者F	
対象施設	望来小学校
活用の態様	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿所あるいは農漁業体験施設等の宿泊施設、介護予防施設、地元工芸品作家等の展示・交流スペース、児童交流施設、文化振興・伝承施設、など。 ・貸借を前提。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁業の成り手の確保、地域住民の健康増進、など。 ・地域ボランティアの活用。

4. まとめ

今回のサウンディング型市場調査を通して、聚富小中学校・望来小学校・厚田小学校について、それぞれの立地や建物の規模等に応じて、多様な活用の方策があることが分かりました。

厚田保育園及び聚富保育園については、事業主体性をもった提案がなかったため、今回の調査で頂いた意見を参考に、引き続き検討を進めて参ります。

今後は、調査で得られたアイデアを踏まえ、具体的な公募条件を設定し、民間事業者等の活用希望を募集することで、廃校舎・園舎の活用を推進して参ります。

5. 今後のスケジュール（予定）

平成31年4～6月	公募条件の検討
平成31年7月	公募条件の確定・公表

6. お問い合わせ先

〒061-3292

北海道石狩市花川北6条1丁目30-2

石狩市役所企画経済部政策担当

T E L : 0133-72-3644 (直通)

F A X : 0133-75-2275

メール : seisaku@city.ishikari.hokkaido.jp